



PAINTING (塗装)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

ガンダムデスサイズ EW 指定色

	本体などの塗装色 ホワイト(100%)+ネービーブルー少量
	肩などの塗装色 ブルー(50%)+ブラック(25%) +ホワイト(15%)+レッド(10%)
	アンテナなどの塗装色 イエロー(45%)+ホワイト(35%) +オレンジ(20%)
	コクピットハッチなどの塗装色 モンザレッド(100%)
	内部メカ、武器などの塗装色 ニュートラルグレー(90%) +ブラック(10%)
	目などの塗装色 クリアグリーン(100%)

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ワンポイントステップ ~One point step~

顔を中心にスミ入れしてみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れるだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]



[after]

デュオ・マックスウェル

	顔などはだ色部 はだ色(100%)
	髪の塗装色 ミドルストーン(50%) +ウッドブラウン(50%)
	靴の塗装色 ウッドブラウン(100%)
	服の塗装色 ミッドナイトブルー(90%)+ホワイト(10%)
	インナーの塗装色 モンザレッド(100%)
	袖の塗装色 ホワイト(100%)



XXXG-01D GUNDAM DEATHSCYTHE

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
 XXXG-01D GUNDAM DEATHSCYTHE 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

GUNDAM-W
Endless Waltz
 敗者たちの栄光



XXXG-01D
 「ガンダムデスサイズ EW」
 1/100スケール
 マスターグレードモデル



XXXG-01D
 「ガンダムデスサイズ EW」
 1/100スケール
 マスターグレードモデル

GUNDAM DEATHSCYTHE XXXG-01D
 NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
 XXXG-01D GUNDAM DEATHSCYTHE 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

GUNDAM DEATHSCYTHE XXXG-01D

新たな『ガンダムウイング』が示すもの

2010年。新たな『ガンダムW』の物語が始まる。「月刊ガンダムエース(角川書店:刊)誌上において、コミック『ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』(シナリオ: 隈沢克之/漫画: 小笠原智史)が連載開始。そして小説『新機動戦記ガンダムW Frozen Teardrop』(隈沢克之:著)がリリースされる。'95年のTVシリーズを皮切りに、OVA、劇場版を経て、多くのスピンオフを生み出してきた『新機動戦記ガンダムW』が、15年の刻を越えて、再びその翼を羽ばたかせるのだ。

'94年の『機動武闘伝 Gガンダム』を皮切りに始まった“非U.C.(宇宙世紀)ガンダム”シリーズは、世界観の刷新に止まらず、MS(モビルスーツ)にも新たな変革をもたらした。“兵器”としての進化を続けていたMSは、『Gガンダム』でパワフルかつユニークな変貌を遂げ、『新機動戦記ガンダムW(以下「GW」)』ではトラディショナルかつスマートなシルエットを獲得した。さらに「GW」は、OVAシリーズ『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz(以下「EW」)』へと発展し、主役機である5機の“ガンダム”にも、よりスタイリッシュなブラッシュアップが施されることとなった。これは「EW」が、「GW」を熱烈に支持する中核層に向けた、よりマニアックな作品である事をコンセンサスとしたためであり、それを象徴するアイコンとして、特に主役級MSのデザインが装いも新たに登場することとなったのである。

A.C.(アフターコロニー)195年。コロニー住民が地球圏統一連合によって抑圧されていた時代。水面下では秘密結社「OZ」が暗躍していた。ヒロ・ユイ、デュオ・マックスウェル、トロワ・バートン、カトル・ラバーバウィナー、張五飛(チャン・ウーフェイ)ら5人のパイロットと5機の“ガンダム”は、それぞれの所属するコロニーから“オペレーション・メテオ”遂行のため地球へと降り立った。それを察知したOZの総帥トリーズ・クシュリナーダは、ガンダムの出現を利用すべく行動を開始する。しかし、連合を裏から支配していたロームフェラ財団などの守旧派による抵抗や陰謀、コロニー側の急進派“ホワイトファング”の介入などもあって情勢は千々に乱れ混迷する。5人の少年たちは変転する運命に翻弄されながらも生き延び、彼らが駆る5機のガンダムは更なるパワーアップを遂げる。そしてついには、一度は歴史の中に潰えたかに見えた「完全平和主義」に基づく“地球圏統一国家”樹立を成し遂げるのであった!!

A.C.196年。かつての戦いから一年後、トリーズの実子を名乗る少女マリーメア・クシュリナーダ率いるマリーメア軍が地球圏統一国家に対して宣戦を布告。その主導的存在のリリーナ・ドーリアンを拉致するや、各地への侵攻を開始する。ヒロたち5人はそれぞれの想いを胸に、再びガンダムを駆って戦いの渦中に身を投じる!!

A.C.195年の“オペレーション・メテオ”に端を発し、地球圏統一国家樹立までの一連の戦いを描く物語がTVシリーズ『新機動戦記ガンダムW』であり、A.C.196年の“マリーメア軍の蜂起”と、その戦いの顛末を描いたのがOVAおよび劇場版『Endless Waltz』である。後者のシリーズは、同じ世界観に基づくTVシリーズの続編ではあるが、前述したように登場する主役級MSのデザインが一新されている。「EW」用にカトキハジメ氏らによって手掛けられた5機のガンダムは「GW」の物語後半でパワーアップした機体群と同じものであるとされ、“カスタムタイプ”にカテゴライズされている。すなわち、映像作品には登場しないが、世界観的には“パワーアップ前”の機体も存在するという事になるのである。



▲カトキハジメ氏が描き起こし、劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されたイラスト

■TV版『新機動戦記ガンダムW』オープニングカット



■OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』1/100スケールのキット



1/100 ウイングガンダムゼロカスタム 1997年発売



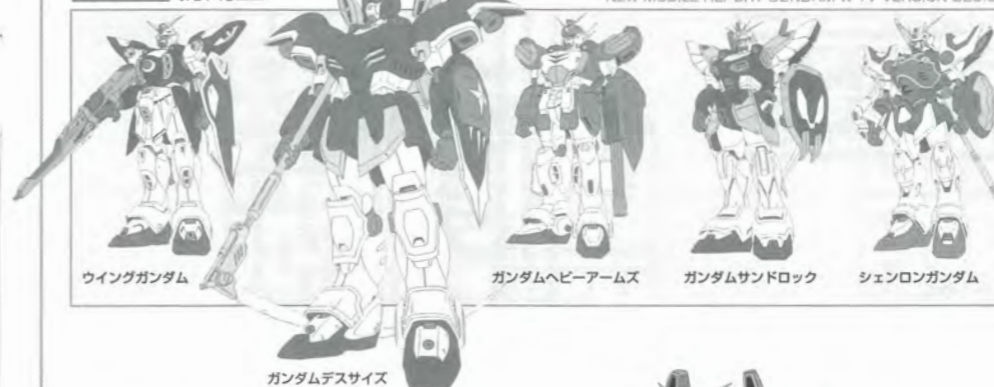
1/100 ガンダムデスサイズヘルカスタム 1998年発売

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

MS Design

『新機動戦記ガンダムW』に登場するガンダムのデザインには、大河原邦男氏がデザインした「TV版」とカトキハジメ氏が手掛けた「エンドレスワルツ版」(以下「EW版」)に分けることができる。どちらも設定上は同じ機体ではあるが「TV版」の設定を『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』の世界観を通してパラレルワールド的なデザインに置き換えた物が俗に“アーリータイプ”と呼ばれている「EW版」である。

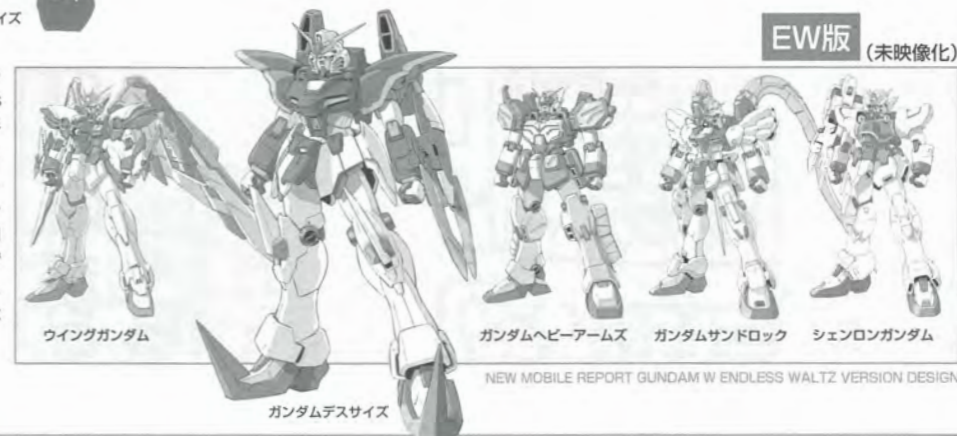
TV版 初期型



NEW MOBILE REPORT GUNDAM W TV VERSION DESIGN

『新機動戦記ガンダムW』に登場するガンダムにはそれぞれ、日本、西洋、中東、アメリカ、中国というデザインコンセプトが存在している。今回キット化されたガンダムデスサイズは名称もDeath(死)+Scythe(大鎌)という単語を組み合わせた造語になっており、まさにその死神の様な風貌に合った名前になっている。

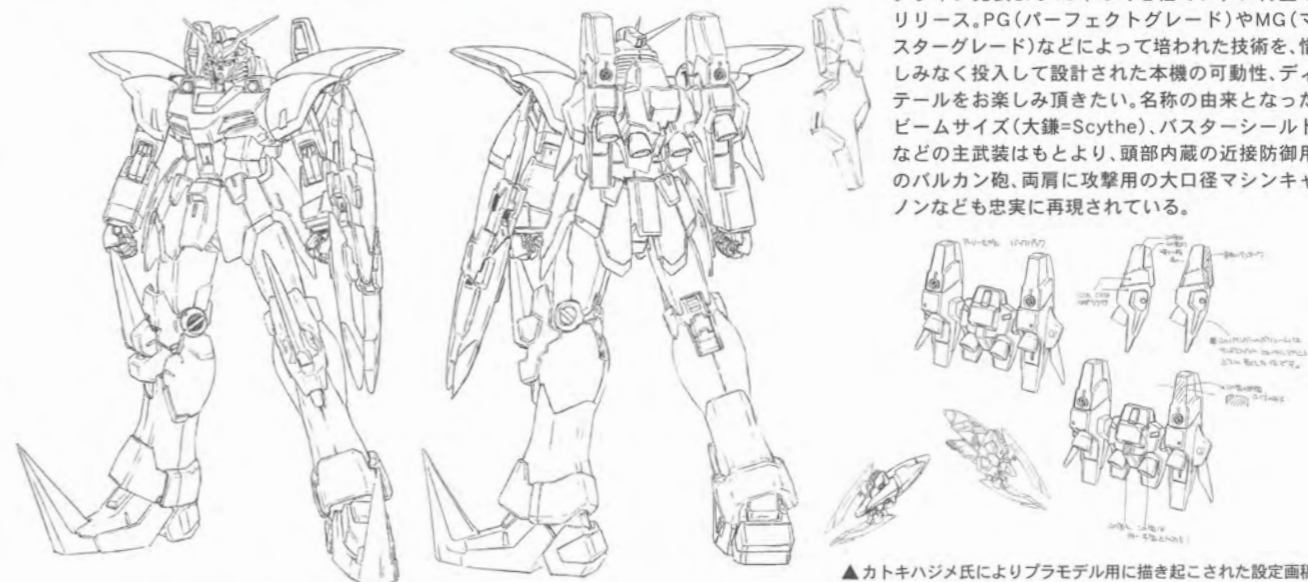
「TV版」の続編として描かれているOVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のMSは、カトキハジメ氏が手掛けたデザインにより、スタイリッシュかつスマートにブラッシュアップされた。このデザインをベースに初期型としてフィードバックしたものが「EW版」である。そのコンセプトは「EW版」でも「TV版」と同じようにヒロやデュオたちは初期型に乗っていたに違いないという発想からであった。



EW版 (未映像化)

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ VERSION DESIGN

《プラモデル用設定画稿》



MG GUNDAM DEATHSCYTHE

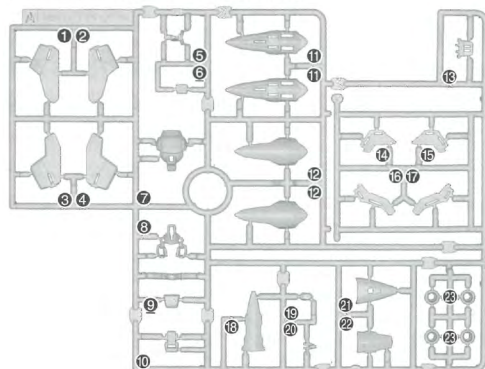
デザイン発表より15年の時を経てファン待望のリリース。PG(パーフェクトグレード)やMG(マスターグレード)などによって培われた技術を、惜しみなく投入して設計された本機の可動性、ディテールをお楽しみ頂きたい。名称の由来となったビームサイズ(大鎌=Scythe)、バスターシールドなどの主武装はもとより、頭部内蔵の近接防御用のバルカン砲、両肩に攻撃用の大口径マシンキャノンなども忠実に再現されている。

▲カトキハジメ氏によりプラモデル用に描き起こされた設定画稿

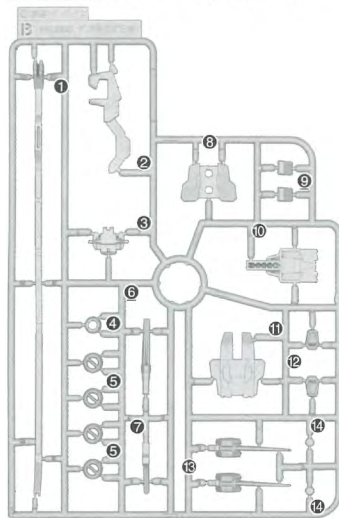
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

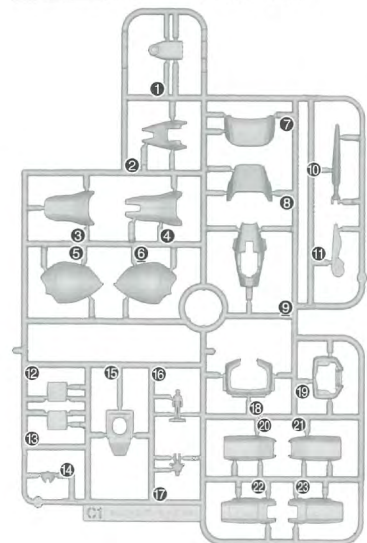
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



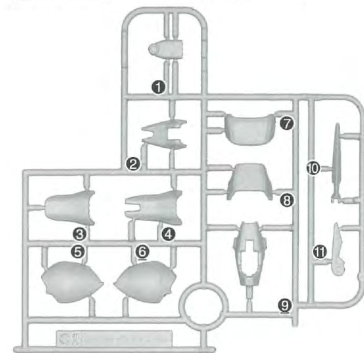
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



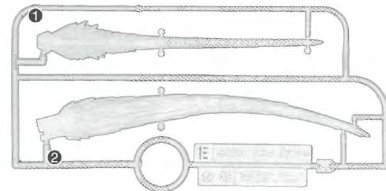
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



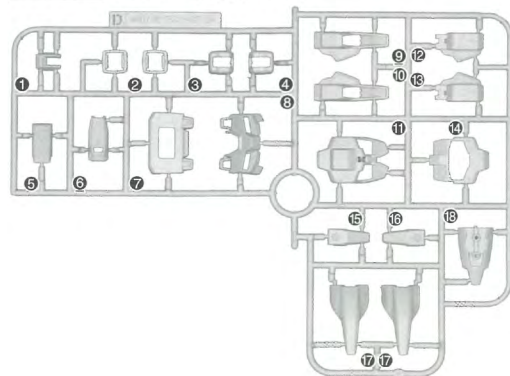
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



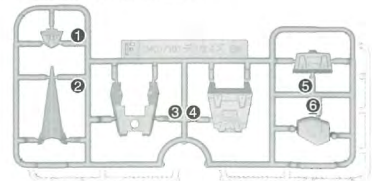
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



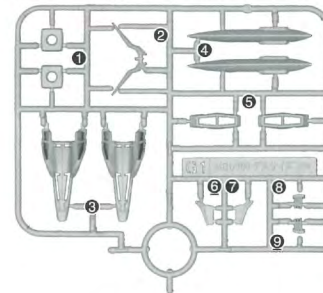
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



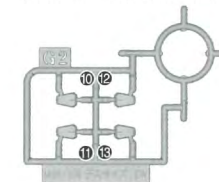
Fパーツ (× 2)
(スチロール樹脂: PS)



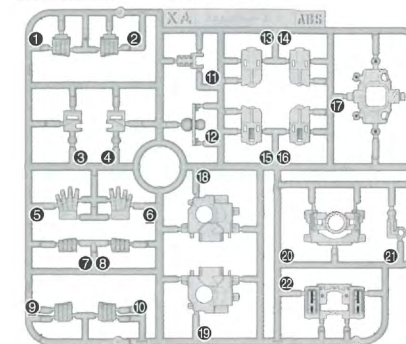
G1パーツ (スチロール樹脂: PS)



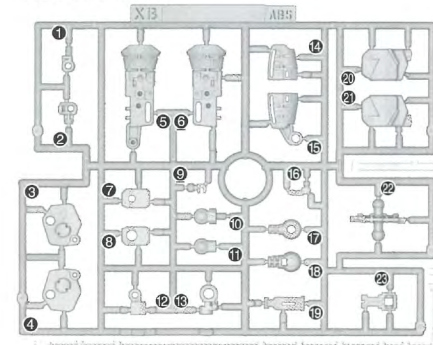
G2パーツ
(スチロール樹脂: PS)



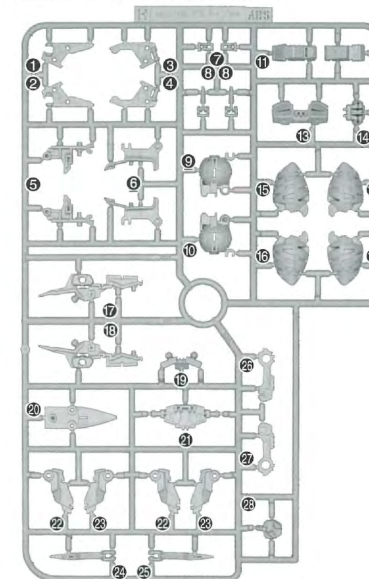
XAパーツ (ABS樹脂: ABS)



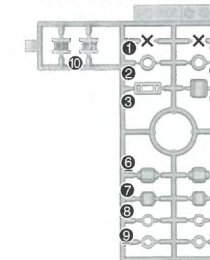
XBパーツ (× 2)
(ABS樹脂: ABS)



Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



PC-205Aパーツ
(ポリエチレン: PE)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ガンダムデカール……………1枚

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

1-1 BODY

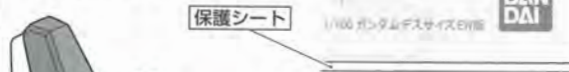
(ボディの組立)



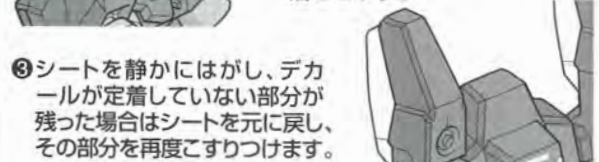
※各部品は、向

ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



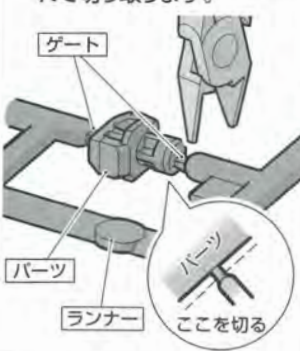
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、すれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。



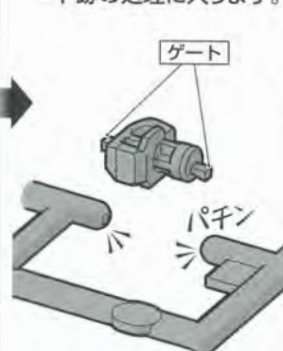
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



説明書をよく読んで完成させましょう

バスターシールド [BUSTER SHIELD]



注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

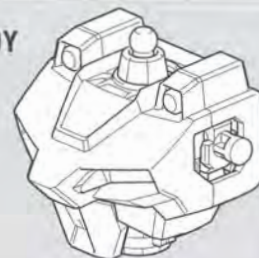
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・鋭い部品があります	・シールの番号	・シールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・向きに注意して取り付ける	・どちらかを選んで取り付ける	・ビスの締めすぎに注意

1 BODY



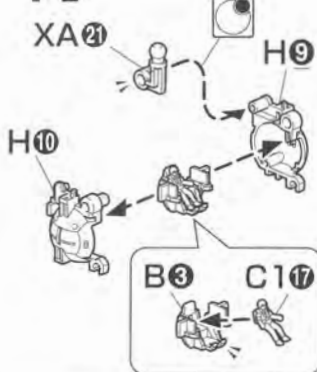
1-1 BODY

(ボディの組立)



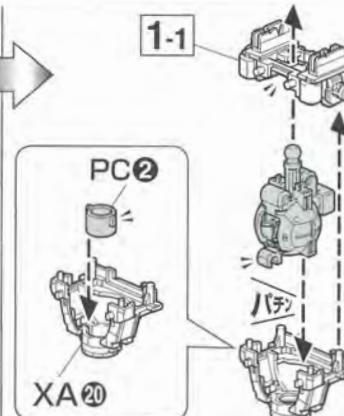
※各部品は、向きに注意して組み立てます。

1-2



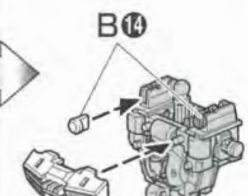
PC3

1-1

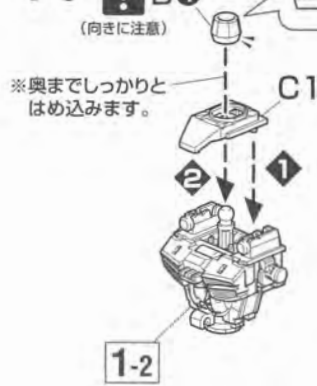


パチン

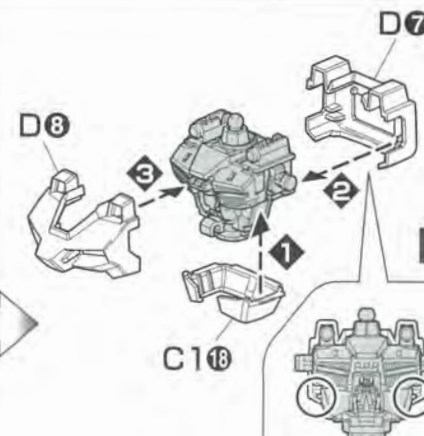
B14



1-3



※奥までしっかりとはめ込みます。



(向きに注意して反対側に取り付ける)

※奥までしっかりと
はめ込みます。

GUNDAM W ANOTHER ASPECT

The Gundam Deathscythe

地球を巣立った人類は、宇宙コロニーでの生活に新たな希望を求めていた。しかし、地球圏統一連合は「正義と平和」の名の下に、圧倒的軍事力をもって各コロニーを制圧していった。作戦名「オペレーション・メテオ」。連合に反目する一部コロニー居住者たちは、流星に偽装した新兵器を地球に送り込む行動に出た。だがこの作戦は、すでに連合本部に察知されていた。

A.C.195年4月7日。夜の間に包まれるOZの北米兵器工場。その目と鼻の先に巨大なカプセルが激突し大地を揺るがした。「なんだ?」「敵襲か!?!」「不発弾だ!!」突然の異常事態に兵士たちがうろたえる。次の瞬間、歩哨のリーオーが何機か、瞬間に撃破されてしまった。唖然とする兵士らの視線の先、リーオーの残骸と爆炎の向こうから、さながら大鎌を携えた死神のようなシルエットがぬっつと姿を現す。「こちらデュオ。メインモーター破壊任務終了!!」ガンダムデスサイズが装備するハイパージャマーによりレーダー類は機能せず、OZの兵士たちは目の出来事を脅威として認識する間もなく、工場は大混乱に陥っていた。「あとは撤収時、斬って斬って斬りまくる!!」巨大な鎌の切っ先がエメラルドグリーンの弧を描くたび、工場の施設が、迎撃に出たリーオーが両断され、あるいは粉砕されていた。ほんの数刻で工場はその全ての機能を失い、破壊されていないリーオーは1機たりとも存在していなかった。ふと兵士たちが気付いたとき、その破壊をもたらした死神のような巨大な影は、すでに闇に溶けて消え去っていた……。



Character Illustration: Ogasawara Tomofumi

プロフェッサーGの指令を受け地球に降下する。そして、最初の任務を遂行した後、大気圏突入の途上で見かけた別のMSカプセルの事が気になっていた。「L-1コロニーからのカプセル? どここの馬鹿だ!? ECMくらいかけなきゃ狙い撃ちされちゃうぞ……」あれはどうみてもOZのシャトルが発見されていたはずだ。撃墜されたとすれば、海中に没しているかも知れない。「まずは太平洋かね……」デュオと相棒の次の行く先が決まったようだった。

※写真はイメージです。

Five Gundams Confirmed

OZの北米工場を壊滅させた翌朝、デュオは「相棒」とともに空を見上げ、この数時間で起きた出来事を思い返していた。「オペレーション・メテオ」発動の数刻前、コロニー落下を中核とする「本来のオペレーション・メテオ」を回避すべく、デュオは「相棒」を破壊して自らも命を絶とうとしていた。それを見越していたプロフェッサーGは、デュオが用意していた爆弾から信管を抜き去っていたばかりか、機体には擬装用のプロテクトまで仕込んでいた。「デスサイズを盗め」プロフェッサーGが背中を眩く。「お前はお前の「オペレーション・メテオ」をするがいい……」「俺の「オペレーション・メテオ」?!」「太平洋にハードという男がいる。そいつを頼ってみろ」「コロニーを落とさず、デスサイズと地球に降りろってのか?」「無論、死神としてな」「死神ね……大量殺戮の英雄より、はるかにマシか」デュオはひとりごちた。かくしてデスサイズを盗み出したデュオは、改めてプロフェッサーGの指令を受け地球に降下する。そして、最初の任務を遂行した後、大気圏突入の途上で見かけた別のMSカプセルの事が気になっていた。「L-1コロニーからのカプセル? どここの馬鹿だ!? ECMくらいかけなきゃ狙い撃ちされちゃうぞ……」あれはどうみてもOZのシャトルが発見されていたはずだ。撃墜されたとすれば、海中に没しているかも知れない。「まずは太平洋かね……」デュオと相棒の次の行く先が決まったようだった。

《カトキハジメによるデザインをMASTER GRADE化したEWシリーズのMS》

MG WING GUNDAM (Ver.Ka)

飛行形態への変形はもとより多彩なアクションポーズが楽しめる。高い密度感と鮮やかなトリコロールを再現。シックなシルエットでありながら、確固たる存在感を放つMG [Ver.Ka]第2弾。付属するマーキング類も充実。2004年3月発売。



MG WING GUNDAM ZERO (EW版)

先行して発売したPGの開発に伴って得られたノウハウを惜しみなく投入し、フレームや外装、ウイングパーツなどにそれぞれ最適な素材を採用。柔らかな曲線と、直線の組み合わせが生み出す幻想的なシルエットや劇中のポーズを表現した。2004年10月発売。



GUNDAM DEATHSCYTHE XXXG-01D

新章を紡ぐ『ガンダムW Endless Waltz—敗者たちの栄光—』

～登場MSのデザインはEW仕様のMS～

Endless Waltz

敗者たちの栄光

俗に「アーリータイプ」と呼ばれる5機のガンダムは、OVAシリーズを再構成した劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されているカトキハジメ氏が描き下ろしたイラストである。「EW仕様」のラインを踏まえたデザインは、現在に至るまで、ディープなファンのみならず広く認知されているものの、その立体化はプラモデルで実現されていなかった。



Illustration: Ogasawara Tomofumi



Illustration: Katoki Hajime

しかし、2010年、「月刊ガンダムエース(角川書店刊)」および「サンライズ」のタグによる、「ガンダムW」の再起動によって再燃。同タイトルに登場するMSのMG化も同時に発進する。

コミック『ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光』は、デュオ・マックスウェルの視点を中心として、TVシリーズでは描かれなかったエピソードが盛り込まれる。ガンダムエース2010年11月号より連載。

そして同時に発表された小説『新機動戦記ガンダムW Frozen Teardrop』は、「EW」のエピソードの更に未来と、ガンダムパイロットの5人の少年達以外のトレースやゼクスなど様々なキャラクター達のTVシリーズにない過去のエピソードを描いた作品である。

MG GUNDAM DEATHSCYTHE MODEL DATA

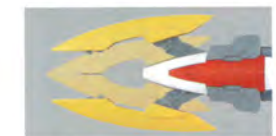
5機のガンダムはウイングゼロから派生したという設定から、基本構造には共通化した新規フレームを使用。



プラモデルならではの伸びやかなシルエットを再現するため、爪先を伸ばすことが可能。



大型のビームサイズをスムーズに構えるために肩は引き出し構造を採用。



バスターシールドは展開し大型のビームパーツを取り付けることで攻撃イメージを再現。



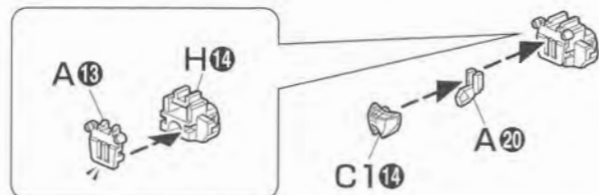
MG ウイングガンダム (Ver.Ka) (別売り) とバンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) 2点を使用することで、迫力のあるディスプレイ展示が可能。

2 HEAD

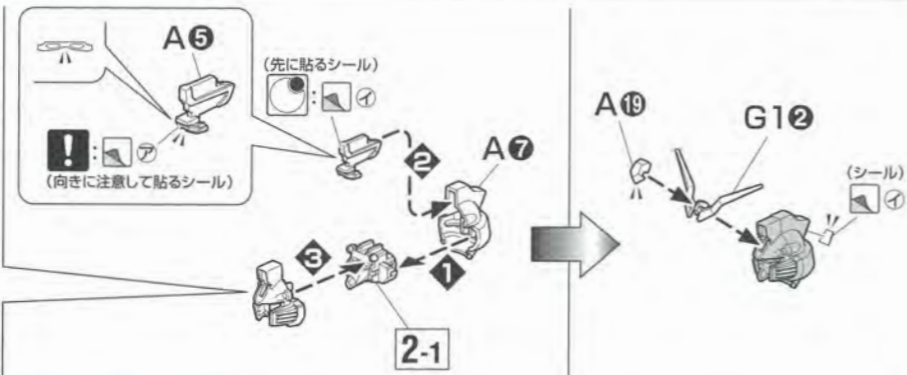
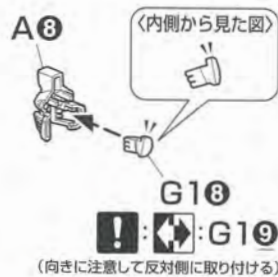


2-1 HEAD

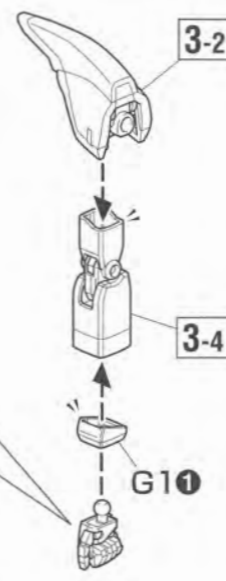
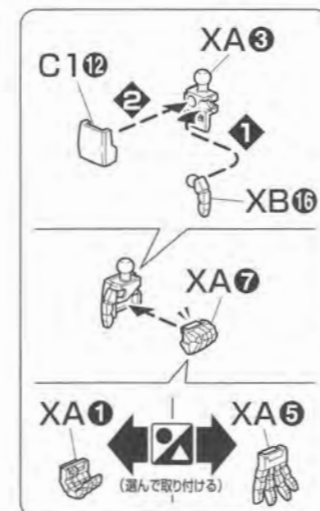
(頭の組立)



2-2

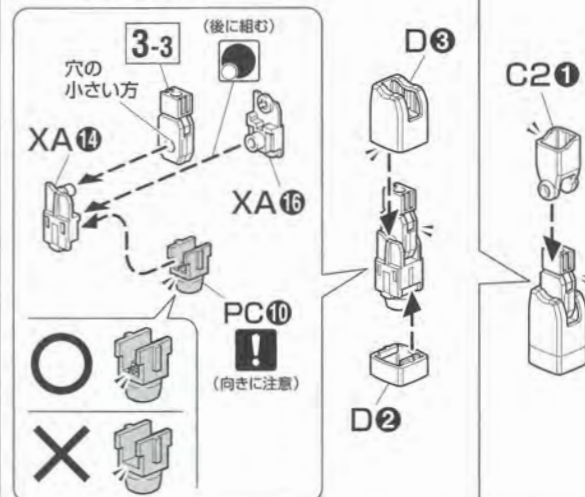


3-5



4-1 LEFT ARM

(左腕の組立)

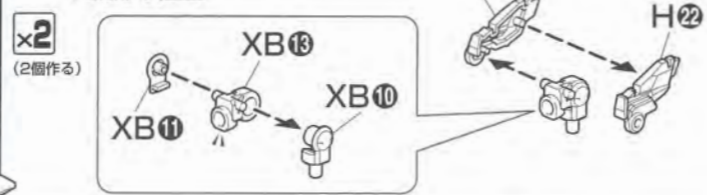


3 RIGHT ARM

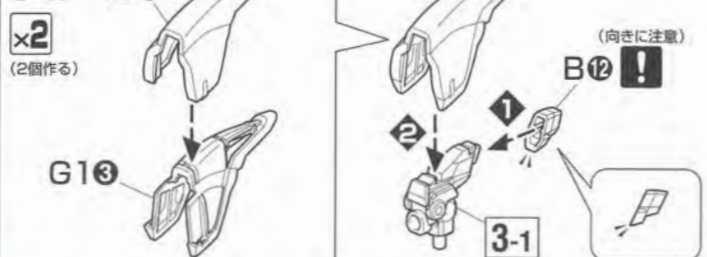
4 LEFT ARM

3-1 ARM

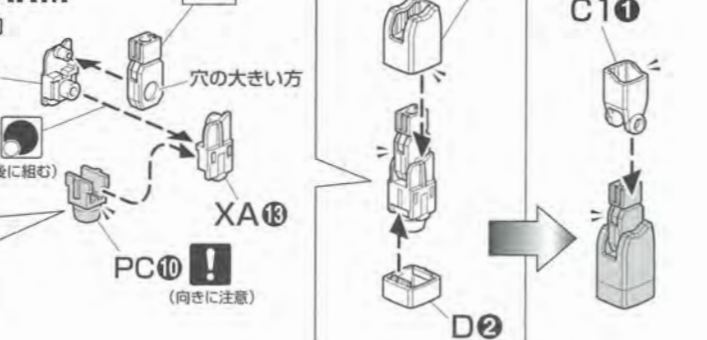
(腕部の組立)



3-2

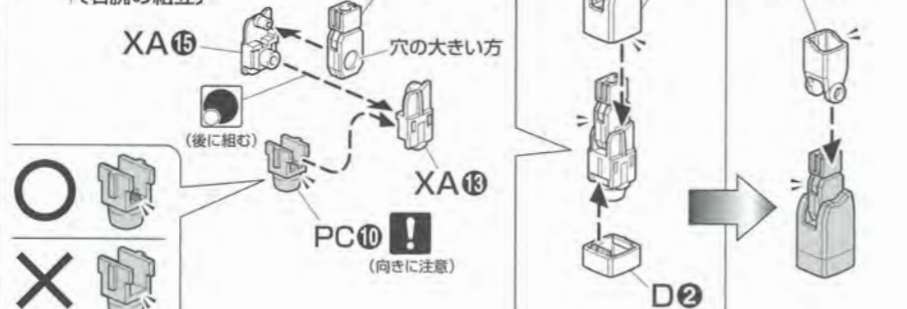


3-3

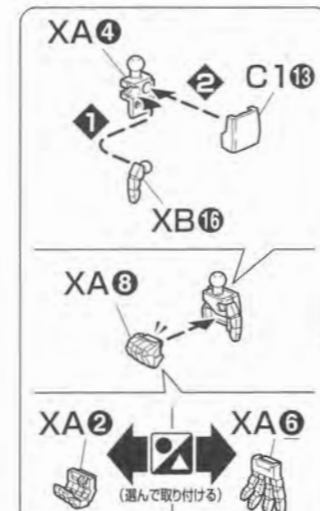


3-4 RIGHT ARM

(右腕の組立)

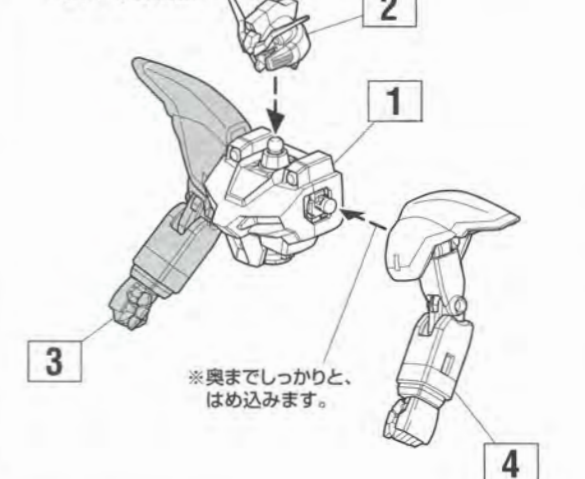


4-2



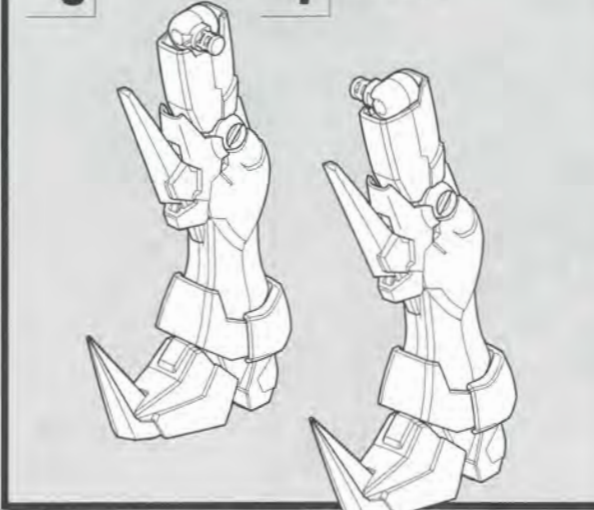
5 UPPER BODY

(上半身の組立)



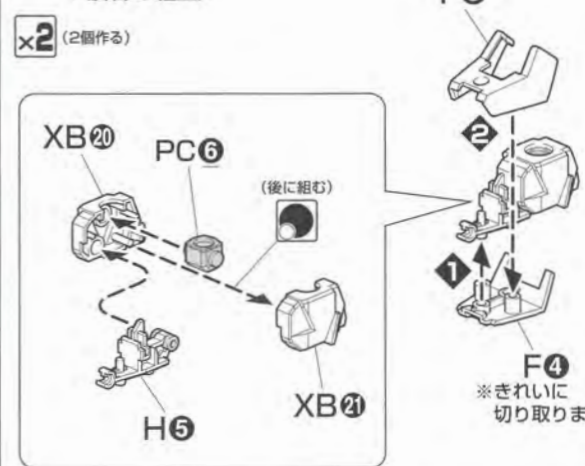
6 RIGHT LEG

7 LEFT LEG



6-1 LEG

(脚部の組立)



6-2
 ×2 (2個作る)
 F0, H0, F1, C12 (C22), B0, F6

6-3
 ×2 (2個作る)
 XB4, PC8, XB15, XB14, XB10, XB6

※きれいに切り取ります。

6-4
 ×2 (2個作る)
 H7, H6

6-5
 ×2 (2個作る)
 XB4, 6-3, 6-4

6-6
 ×2 (2個作る)
 XB6, PC7, B6, H6, H6

6-7
 ×2 (2個作る)
 C16 (C26), C15 (C25), C16 (C23), C14

6-8
 ×2 (2個作る)
 XB2, C17 (C27), C18 (C28)

6-9
 ×2 (2個作る)
 B10, C10 (C210)

6-10 RIGHT LEG
 [右足の組立]
 PC9, XB17, XB10, C12, C14, C19, 6-9, 6-8, 6-2

7 LEFT LEG
 [左足の組立]
 XB17, PC9, XB10, C12, C120, C19, C29, 6-9, 6-8, 6-2

8 WAIST

8-1 WAIST
 [腰の組立]
 XA10, PC4, XA19, PC5, XA17

8-2
 (向きに注意) <上から見た図>
 A9, H12, D5, A6, H10, D6, 8-1

8-3
 H3, A4, XB9, A10, G212

8-4
 A3, H4, XB9, G210, A14

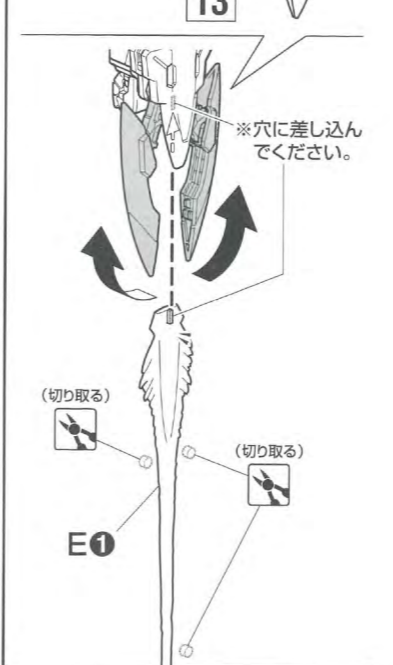
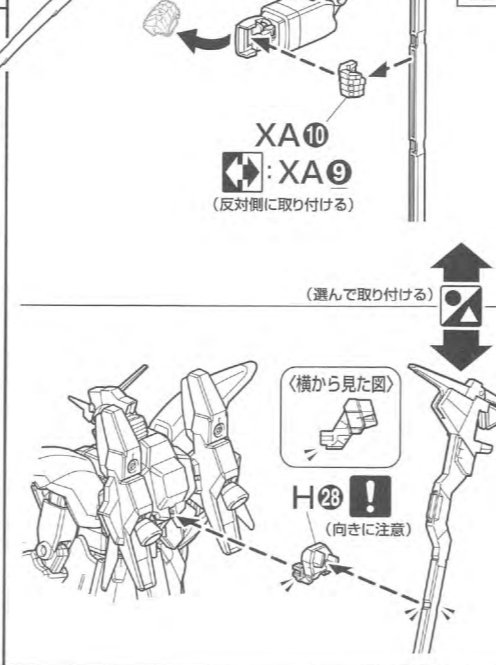
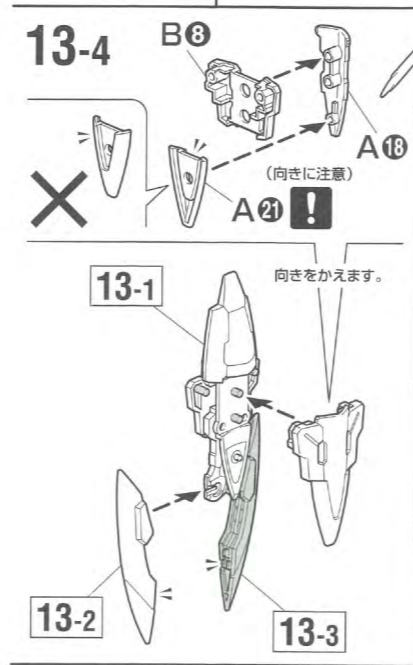
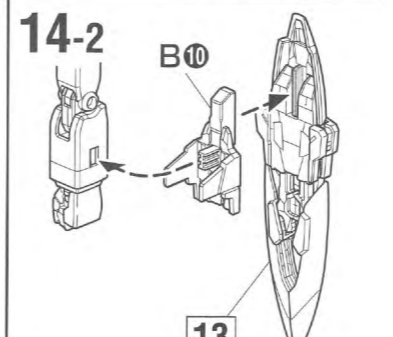
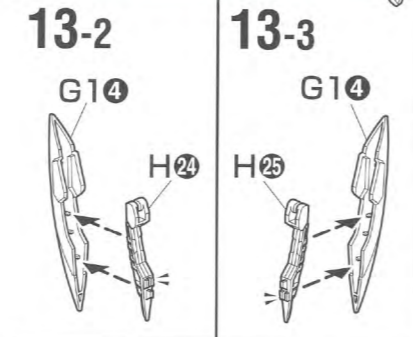
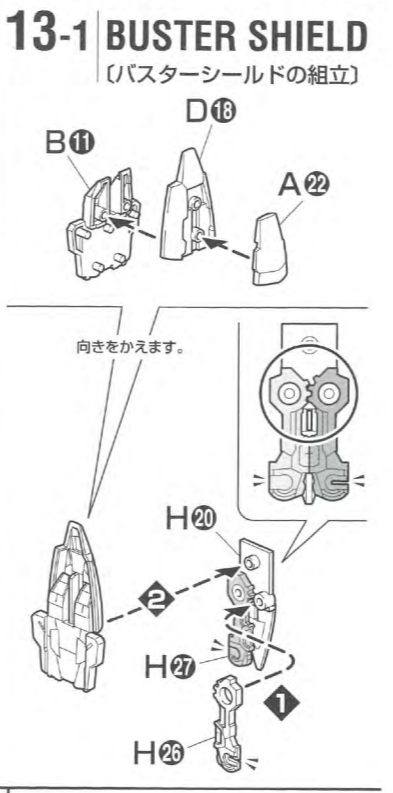
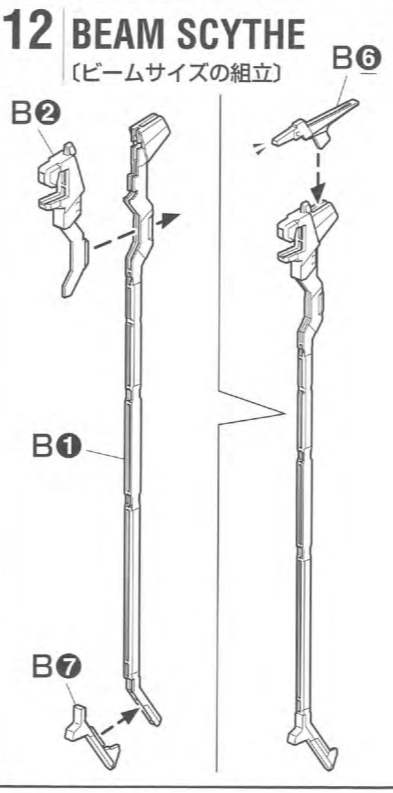
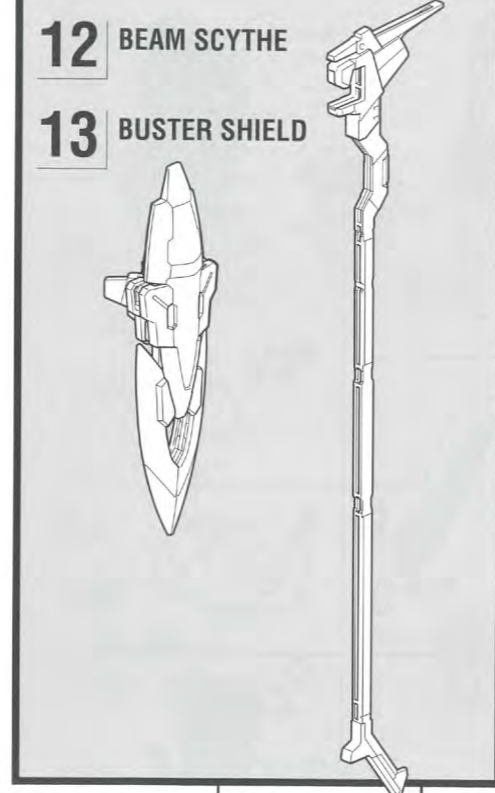
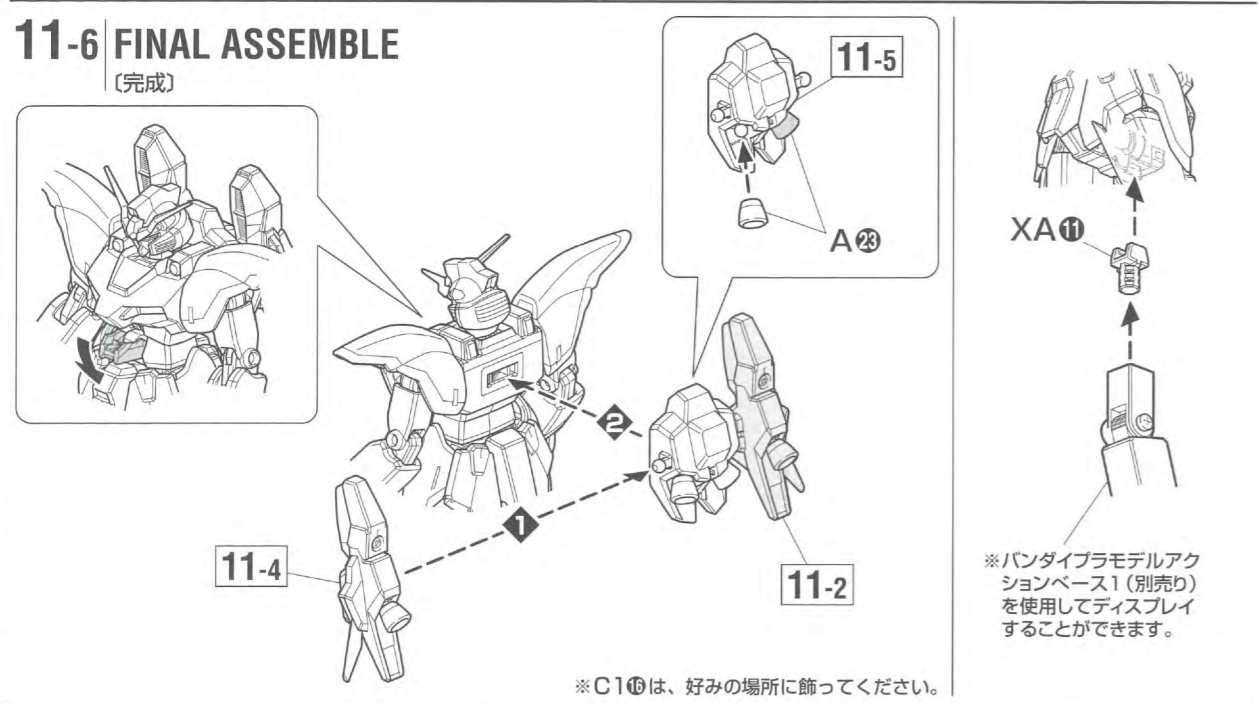
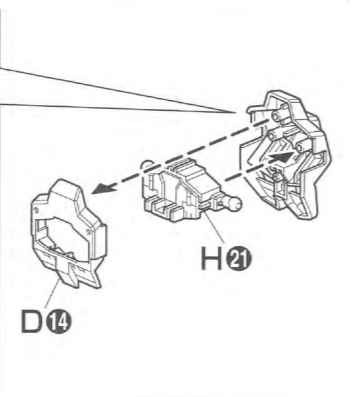
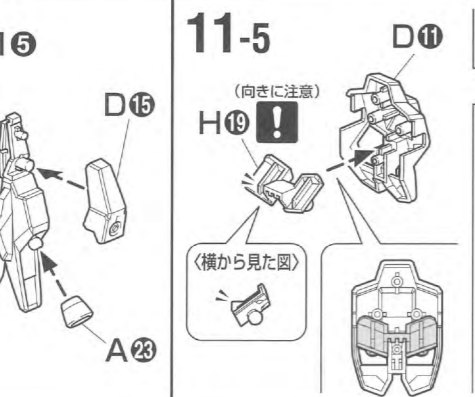
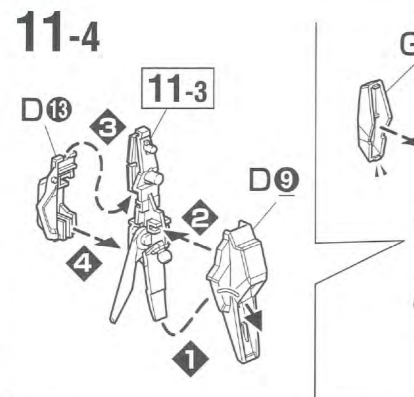
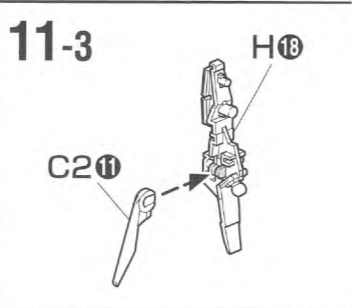
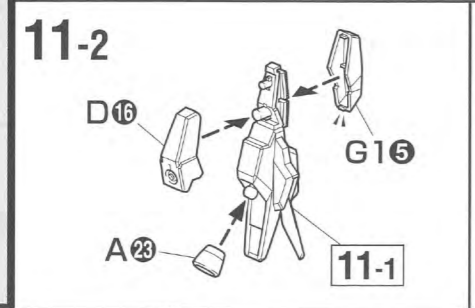
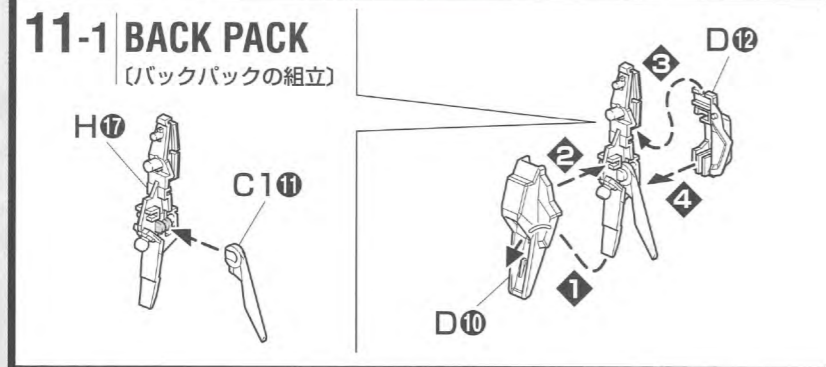
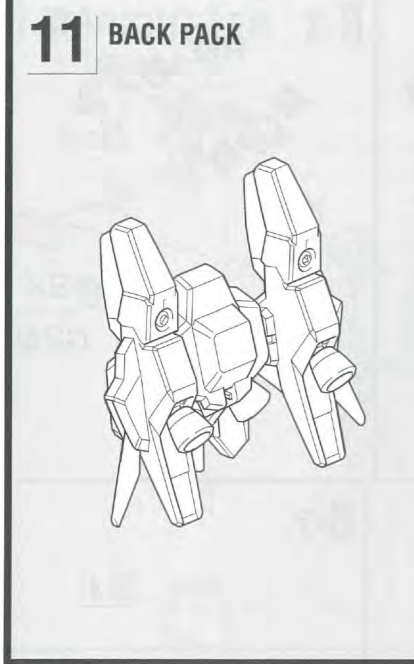
8-5
 A2, H1, G210, A17

8-6
 H2, A1, A16, G211

8-7
 8-4, 8-5, 8-6, 8-3, 8-2

9 BOTTOM
 [下半身の組立]
 ×2 (2個作る)
 XB20, A11, A12, 8, 6, 7

10 BODY ASSEMBLE



Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

マーキングシールは「数字」、ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。
【例】①・・・マーキングシール A・・・ガンダムデカール

※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。